

君津市公民館等再整備基本計画について

教育委員会

老朽化した公民館等の再整備を基軸とし、他の公共施設との複合化や民間活力の活用も図り、将来に向けた地域の拠点施設が整備できるよう令和5年12月を目途に基本計画の策定に取り組んでいる。

令和5年6月に開催した第1回市民ワークショップ及びサウンディング調査結果を踏まえ、以下のとおり再整備の方向性を検討した。

11月に開催予定の第2回ワークショップにおいて現時点での方向性を示し、整備方針を定めていく。

1 対象施設

- (1) 周南、小糸、小櫃の3公民館
- (2) 各公民館の周辺施設

2 民間活力の導入

(1) サウンディング結果

①参加者数

6者（建設業4者、ビルメンテナンス業1者、社会福祉法人1者）

②参入意欲

- ・事業規模、事業期間等の条件が合えば積極的に参入を検討するが4者
- ・対象施設すべてに関心ありが2者、小糸・小櫃地区のみが2者
（建設事業者で周南地区に関心ありとしたのは1者）
- ・単館発注より工事規模が大きくなる複数館発注の方が参画しやすい
（技術者の配置等、同時期の工事は難しい）
- ・PFIの成立は難しいが、SPCを設立しないPPPは効果がある

③事業効果や地域の利便性等を高めるアイデア、提案

- ・周南公民館の立地は周南小学校から通り沿いのコンビニあたりまでへ移転
- ・収益事業の実現可能性は、ほとんどの事業者が厳しいとの見解
（販売スペースの設置やセルフカフェスペースとしての利活用は可能）

(2) 民間活力導入の考え方

サウンディング結果によると、3地区の公民館等再整備事業を包括して発注する場合には、事業者の参入意欲向上や行政コストの縮減等が期待できる。

また、独立採算事業としては難しいが、地域の利便性向上に資する提案もあったことから、今後、簡易なVFM評価を経て導入可能性調査を実施し、定量評価及び定性評価を踏まえ、包括発注及び官民連携について評価する。

3 設置場所

(1) 周南地区

現状、敷地の一部が土砂災害特別警戒区域にかかることから、災害リスクの低い土地、かつ、小中学生から高齢者まで様々な世代が利用しやすい場所で検討する。

(2) 小糸地区

現在の小糸公民館の立地を基本とし、隣接する公有地も含めた一帯の敷地を活用した拠点エリアの一角の形成を検討する。

(3) 小櫃地区

現在の小櫃公民館の立地を基本とし、周辺施設の機能を一体的・効率的に配置することにより拠点エリアの形成を図る。

4 複合化・集約化

(1) 小糸地区

保育環境整備計画に基づき、老朽化している中・小糸保育園を統合し、整備する。現在、民間保育園の運営経験を有する社会福祉法人に対し、民営化の可能性についてのサウンディングを行っているところであり、その結果を踏まえ方針を定める。

(2) 小櫃地区

老朽化している小櫃診療所との複合化・集約化を基本に進める。

なお、事業手法等については、民間事業者との対話や費用対効果などを検証した上で方針を定める。

5 事業スケジュール

○令和5年度

- ・ 11月15日～20日 第2回市民ワークショップ
- ・ 11～12月 整備方針の検討
- ・ 12月 基本計画完成

○令和6年度以降

